

No.	校歌(案)中間報告会での指摘事項 8/29	大野靖之氏からの回答 9/11	
1	「宝島」でなく「宝の島」のほうが軟らかい表現だと思う。	おっしゃるとおり、「宝の島」のほうが軟らかい表現ですが、作り手としての意見としては、言葉遊びの要素を取り入れています。ここは「宝島」でいかせていただけるとありがたいです。 〈前半の歌詞〉堤と皆の愛でまもってき たかわじま 〈中盤の歌詞〉田畑は実り 大地豊かな たからじま	修正しない
2	小学生にとっては、全体的に音が低いと思う。2度か3度音を上げないと特に低学年の児童が歌いづらいと思う。	8月29日の校歌(案)報告会では、子供たちが歌う場合の1オクターブ下で歌わせていただきました。分かりづらく申し訳ございません。 校歌完成の了承をいただいた後、楽譜制作に入りますが、その時は1オクターブ上で明記する予定です。 これまで制作してきた校歌も、今回と同程度の音域で制作してきましたので、問題はないと考えています。 ◎8度音程(完全)  完全8度は、オクターブです。	1オクターブ上げて楽譜作成の予定
3	歌い上げる(盛り上げる)部分がほしい。	作り手としては、まさに歌い上げる(盛り上げる)部分が必要だと思い、「いつも笑顔咲く〜…」と「いつも光射す〜…」の箇所を書いたつもりでいます。曲の構成として、これ以上盛り上げる箇所は作らないほうがよいと思います。現状のままとさせていただきます。	修正しない
4	メロディーで歌いにくい箇所がある。例えば「語ろう 風に」	申し訳ございません。僕としては特に歌いにくいと感じておりません。現状のままとさせていただきます。	修正しない
5	明るい調にしてほしいと思う。	おっしゃるとおり、出だしはマイナー調で始まりますが、一番盛り上がるサビの箇所「いつも笑顔咲く〜…」を含め、全体的には明るいメジャー調ですので、おそらく暗いイメージを持たれる方は少ないかと思っています。曲調については、夢や希望などポジティブなイメージを感じてくださっている意見も多くあります。現状のままとさせていただきます。	修正しない
6	テンポがゆっくりすぎる。元気なイメージがほしい。	作り手としては、川島町を表現するのなら、「元気いっぱい」という方向ではなく、壮大でスケールの大きな作品にしたいと思いました。また、メロディーの美しさと優しい曲調を大切にしました。ただ、おっしゃるとおり、子供たちが歌うことを考えると元気さも必要だと思い、ピアノ伴奏に抑揚をつけ、テンポ感を表現しています。また、校歌としてあまりゆっくりなイメージにならないように、可能な限りテンポを上げて作りました。これ以上テンポを上げると、曲の質感が変わってまいります。現状のままとさせていただきます。	修正しない
7	「宝島」の箇所は「川島」でもよいのでは。	上記(No.1)でも回答させていただいたとおり、言葉遊びとして重要な部分なので、「宝島」とさせていただきます。また、「宝島」という言葉は、他の町では書けない川島町だからこそその表現だと思っています。現状のままとさせていただきます。	修正しない
8	「堤と皆の愛」は言葉として並列するものでないと思う。	申し訳ございません。僕としては特にそう思いません。このフレーズに関しては、多くの方から「方針に沿っている」との意見があります。現状のままとさせていただきます。	修正しない

No.	校歌(案)中間報告会での指摘事項 8/29	大野靖之氏からの回答 9/11	
9	「いつかここに集い 今日の日を笑おう」の箇所について、将来のことより現在のことを歌詞にしたほうがよいのでは。	「今日の日」には、「今という楽しくて愉快的日々」という意味だけでなく、「悲しい出来事や悔しかった時間」という意味も込められています。 「そんな辛いことだって、いつか時間が経てばみんなで笑える日が来るさ」というメッセージが隠されています。そして、翼を広げてこの町を旅立ったとしても、いつでも君の帰りを温かく迎えてくれる故郷があるということも、この歌詞では伝えたいのです。 校歌を制作する時は、卒業式で子供たちが歌うイメージをいつも大切にしています。 卒業式でグッとくる、さらに卒業した後も、故郷に想いを馳せることのできる、そんな校歌にしたいと思っています。	修正しない
10	「コハクチョウ」は、町の東地域では、あまり馴染みがない。	おっしゃるとおりかもしれませんが、「コハクチョウが飛来する町」といのは、やはりとてもインパクトがあつたと思います。 また、つばさ南・北小学校という校名と今回の校歌のテーマにはぴったりだと思います。 現状のままとさせていただきます。	修正しない
11	「今日の日を笑おう」という箇所は、少し気になる。	上記(No.9)でも回答させていただいたとおりです。ご理解よろしくお祈りします。	修正しない
12	「堤と皆の愛」のフレーズの「愛」は、別の言葉が良い。「愛」という言葉は、小学生にはどうかと思う。	小学生に「愛」がふさわしくないとは思いません。 大きさに言えば、人が生きていくうえで愛が最も大切なことですし、子供たちに今一番伝えなければならないキーワードだと思っています。 たかさんの「町を愛する心」が、この町を守っている。 そんなメッセージが届いたらいいなと思い、この歌詞を書きました。 現状のままとさせていただけたら幸いです。	修正しない
13	「田畑は実り」とのフレーズについて、「田畑」は「実」らないのでは。	「田が実る」「畑が実る」という表現は、おそらく間違いではないと思います。「田」はお米を表現し、「畑」は川島町で採れる野菜や果物を表現しているので、できれば田と畑、どちらも歌詞に入れたいと思っています。 しかしながら、国語的に間違いであれば、却下してください。 そこで、現状の歌詞を含めて、3案考えてみました。他にアイデアがあればご提案いただければ幸いです。 案1 稲穂は実り 大地豊かな宝島 案2 田畑の恵み 大地豊かな宝島 案3(現状) 田畑は実り 大地豊かな宝島	修正の余地あり
14	1番2番の区切りがある校歌がよい。	子供たちに自由な心や感性を持ってもらいたいという願いがあり、この曲構成が最も大切な部分であることから、申し訳ございませんが、現状の構成とさせていただきます。気に入ってくださっている方々も多いので、ぜひこの方向で進めさせていただければ幸いです。	修正しない
15	楽譜があるとよかった。	楽譜が用意できなくて申し訳ございません。 <u>基本的に楽譜制作は、こうして皆さんの意見などを聞き、歌詞やメロディの修正がすべて終わって、完成の了承を得てから、楽譜作成の専門家に依頼します。</u> しかしながら、ご指摘も理解できますので、今後の制作の進め方の参考とさせていただきたいと思っています。	校歌完成の了承後、専門家に楽譜の作成依頼